

< 帯状疱疹ワクチン2種類の比較 > * 原則 50 歳以上の方

適応拡大：発症リスクが高いと考えられる18歳以上の方も接種可能

帯状疱疹は水痘・帯状疱疹ウイルス（VZV）といわれるウイルスが原因で発症する病気です。

小さい頃に水痘（水ぼうそう）にかかったことのある方は、すでに水痘・帯状疱疹ウイルスに対する免疫を獲得しており、健康な状態の方も、ウイルスは脊髄に近い神経節で休眠しています。

ストレスや疲れなどにより免疫力が低下した時、眠っていたウイルスが活性化し、皮膚の発赤や水ぶくれ、神経痛などの帯状疱疹の症状を引き起こします。皮疹は1週間程度で改善することが多いのですが、神経痛はピリピリとしたしつこい痛みが後遺症として続き、年単位で顔面神経痛などの症状が残存される方もおられます。

また、年齢を重ねることで、このウイルスに対する免疫力は低下するので、**50～70代が最も発症数が多いのですが、若い人に起こることも珍しくありません。**まれに繰り返し発症される方もおられます。

ワクチンを接種することにより、低下した免疫力を高めることができます。**ワクチンを打てば必ず発症を抑えるわけではありませんが、発症率を下げたり、発症しても症状を軽くしたり、神経疼痛を軽減する効果が望めます。**ワクチンは2種類あり、費用や特性が違うため、検討資料としてご参照ください。

< 带状疱疹ワクチン2種類の比較 > *原則50歳以上の方

*適応拡大：発症リスクが高いと考えられる18歳以上の方も接種可能

	乾燥弱毒水痘生ワクチン「ビケン」	「シングリックス」不活化ワクチン
接種方法・回数	皮下注射・1回	筋肉注射・2回(初回接種2か月後に2回目) 罹患するリスクが高い方には、1～2ヶ月の間隔をおく。
带状疱疹の発症予防効果	51.3%	50歳以上 97.2% 70歳以上 89.8%
带状疱疹発症後のピリピリした痛みの予防効果	66.5%	50歳以上 100% 70歳以上 85.5%
予防効果の持続期間	5年で効果が減弱	9.6年後まで89.0%が有効
副反応 (3日～7日で消失)	かるい接種部位の痛み、腫れ、発赤	接種部位の痛み、腫れ、発赤、倦怠感、頭痛
費用	8,800円(税込)	1回20,000円 2回接種合計40,000円(税込)



長所	<ul style="list-style-type: none"> ・1回で済む ・費用が安い 	<ul style="list-style-type: none"> ・予防効果が高く、その持続期間が長い ・妊婦や免疫が低下している方も接種できる
短所	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦や免疫が低下している方は接種できない ・持続期間が短い 	<ul style="list-style-type: none"> ・費用が高く、2回接種が必要 ・副反応が比較的強い(接種部位の痛み 78%)